

「ガリレオサイエンス」ホームページ
個人情報の非表示対策報告書

2022年12月10日
株式会社メディアインパクト

Meet the Needs with Web
Media Impact

原因について

1. ホームページの管理システム上で「請求に関する情報」のデータを保持していたが、該当データのURLに直接アクセスすることでサイト外からアクセスできる状態となっており、データに含まれていた個人名がページの「タイトル」として表示されてしまった。

URLの例：https://iku-s.com/deposit_withdrawal/〇〇〇〇

2. このページ自体には検索エンジンからの巡回を禁止する旨の設定を記載していたが、検索エンジンに登録されていた。

今回実施した対策について

1. ホームページのシステムの改修

原因1・2への対策として「請求に関する情報」のデータにアクセスできていたURL（先頭に「https://iku-s.com/deposit_withdrawal/」を含むページ）にアクセスした際に、自動的にサイトのトップページに転送させる処理を追加しました。

また、万一、上記のURLと異なるURLで該当データにアクセスできた場合に備えて、ページの情報がブラウザに出力される前に転送を実行するような設定も追加しております。これにより、既存のデータや、今後追加されるデータ全てに対して、外部からアクセスすることができなくなります。

今回設定した転送処理は「301リダイレクト」と呼ばれる、ページが恒久的に別のページに移転したことを示すもので、検索エンジンが再度同ページにアクセスした際には、「ここにページが存在しなくなった」旨が認識され、検索エンジンから削除されるようになります。

2. 検索エンジン側への対策

12/9の午前11時ごろでGoogle・Yahoo・Bingに登録しているWebサイトの検索データの管理画面から、問題となっていたURLの先頭に「https://iku-s.com/deposit_withdrawal/」を含むページ全ての除外申請を行いました。

原則、申請から1日程度で削除処理が行われ、本日12/10の13時時点で上記検索エンジンから、削除申請前にヒットしていたページが削除されていることが確認できました。

3. その他のページで個人名が表示されるものがないかについて

サイト上で管理しているデータのうち、個人名が表示される可能性のあるデータは下記の5つです。

- (1) 「請求に関する情報」のデータ
- (2) 「各会員のアカウント」のデータ
- (3) 「各会員の予約」のデータ
- (4) ホームページの管理システム (WordPress) の投稿一覧ページ
- (5) WordPressの標準機能のサイト内検索やカテゴリ・投稿タイプの記事一覧からの除外

(1) に関しては、対策1により今後アクセスができなくなります。

(2)・(3) に関しては個人名を含む情報はシステムの管理者がアクセスできる画面と、会員のマイページ以外では文字として出力されないため、検索エンジンの巡回プログラムに収集されることはありません。

(4) に関してはシステム上のデフォルトの機能として、URLの末尾に専用のパラメータ（「?author=〇〇」「/author/〇〇」）などを付与してアクセスすることで、そのアカウントと紐づいているページの一覧を表示する仕組みはございますが、この部分はシステム構築時のセキュリティ対策としてアクセスできないように設定されております。

(5) に関しては、「請求に関する情報」の全データに対して、サイト内検索の検索対象から除外し、カテゴリ・投稿タイプの記事一覧のページを生成しない設定をかけており、該当のキーワードやURLでアクセスしても個人名を含む情報が表示されないことが確認できております。